

超耐久フィルムシート



高い耐久性をもつため、大勢の人が訪れる場所に使用できる

駅や商業施設、工場などあらゆる場所で目にする床面のサイン。日々数万人が足を運ぶところに設置されているケースも多く、女性のハイヒール、ベビーカーの車輪などさまざまな衝撃や汚れに対する高い耐久性が求められる。ビル・ハウスクリーニングのタカハラコーポレーション（高原紘治社長）、フィルムシート製造の東洋包材（安永研二社長）、シート加工のノヴァテック・エヌ・イー（望月民夫）社長は、超耐久フィルムシートを開発。防傷だけでなく抗菌・防カビ、耐熱、耐薬品性など高い機能性を備えており、幅広い場所で導入されている。

* 契機はワックス *

超耐久フィルムシート「ピバ！シート」が生まれたのは、タカハラコーポレ

ーションの「環境にやさしいワックスをつくりたい」（高原社長）という思いがきっかけ。建物の美観・衛生を維持するため、清掃に洗剤やワックスを使うが、清掃に伴い発生した汚染水は河川や海へ排出される。

タカハラコーポレーション

+

東洋包材

+

ノヴァテック・エヌ・イー

床面のサイン、鮮やか長持ち ■

ーションの「環境にやさしいワックスをつくりたい」（高原社長）という思いがきっかけ。建物の美観・衛生を維持するため、清掃に洗剤やワックスを使うが、清掃に伴い発生した汚染水は河川や海へ排出される。

グ技術をもつ東洋包材、印刷技術ノウハウをもつノヴァテック・エヌ・イーに連携を持ちかけた。「ピバ！シート」は、特殊塗料をリサイクル可能なPET樹脂の表面にコーティングして製造する。フィ

■ 汚れに強い新塗料開発

■ 膜形成と印刷法で強化

ルムは1週間もたなかったというが、「ピバ！シート」なら半年もつ。「防傷機能だけでなく耐薬品性、抗菌・防カビ、耐紫外線など。国土交通省から不燃認定も受けているほか、滑りにくい、ガラスの飛散防止といった多彩な機能性を持つ」と高原社長は胸を張る。油性マジックで文字を書いても拭けば取れる。パーマ液や染毛剤を使用する理美容室でも、床にフィルムを張れば水拭きだけで掃除が済む。環境保護だけでなく清掃費のコスト削減に大きく貢献する。

印刷もでき、はがしても粘着剤が残らないのも特徴。デパートなど商業施設で、クリスマスや正月など季節ごとにデザインを変えることもできる。張り替え

が容易なことを生かし、工場などで使うラインテープとしても製品化した。

* 平面ならどこでも *

こうした3社の取り組みは経済産業省の新連携事業に採択。昨年には、アルミや銀の鏡面皮膜を「ピバ！シート」で覆った超耐久ミラー「ピバ！ミラー」も投入。壁やドアなどの平らな場所に張るだけで鏡になる製品だ。

「ピバ！シート」「ピバ！ミラー」ともに、平面であればどこでも使用できるのが強み。そのまま壁や床など建材の表面保護に、印刷して使えば手軽にオリジナルデザインにリニューアルできる。高原社長は「用途は無量大」と期待を寄せる。



これでは汚れを別の場所に移動だけではないか。清掃後1週間~10日ほどで汚れが目立つようになると、また清掃の繰り返し。「商売にはならないが、環境にやさしく、1度塗ったら1年でも汚れないワックスを開発したい」。

これを契機に同社は汚れに強い特殊な紫外線硬化型

フィルム表面の皮膜は無色透明、厚さはわずか1千分の8ミ。見た目は既存のフィルムと変わらないが、従来は強度不足で使えなかった床面に利用できる、画期的な製品に仕上げた。

高い耐久性が評価され、1日100万人以上が出入りする地下鉄駅構内の床面サインにも採用。従来のフィ



タカハラコーポレーション 1975年創業。本社は名古屋市西区野南町3。建物清掃、カーペットメンテナンス、光触媒の3事業を柱に展開する。

発想、市場とも2倍

◆高原紘治社長 中

小企業は独自の発想や技術を持っていても、どこかと手を組まないと事業化は難しい。相乗効果を狙える企業とコラボすれば、発想も市場も結果も倍以上に膨れ上がる。



東洋包材 1962年設立。本社は東京都千代田区神田美土代町5。軟包装資材、機能性フィルムの製造・販売などを手がける。

ノヴァテック・エヌ・イー 2000年設立。本社は宮城県仙台市宮城野区小田原弓の町31・青葉ゆみのまち第一ビル1階。シート加工を手がける。

優位性ある新商品に

◆望月民夫社長 10

年以上前からハードコートは扱っているが、コラボにより優位性のある新しい商品が生まれた。認知度向上、販路拡大に向け積極展開していきたい。



汚れや傷などを防ぎ、水拭きだけで清掃できる